

施策目標個票

(国土交通省28-④)

施策目標	技術研究開発を推進する		
施策目標の概要及び達成すべき目標	技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくため、目標を適切に設定し、それに基づいて技術研究開発を効果的・効率的に推進する。		
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ②目標達成	
		(判断根拠) 業績指標137「目標を達成した技術開発課題の割合」は、目標を達成したことから、「②目標達成」と判断した。	
	施策の分析	「建設技術研究開発助成制度」、「総合技術開発プロジェクト」及び「交通運輸技術開発推進制度」等の研究課題について、外部の学識者から構成される評価委員会により中間評価等を着実に実施し取り組んだことは、目標の達成に有効であったと考えられる。	
	次期目標等への反映の方向性	引き続き、各技術開発課題の外部評価において「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」と評価された割合が毎年度の目標を達成するよう、技術研究開発を効果的・効率的に推進する。	

業績指標	137 目標を達成した技術開発課題の割合	初期値	実績値					評価	目標値
		—	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		毎年度
		—	87.2	97.9	94.4	91.8	93.8		90%
年度ごとの目標値		/	90%	90%	90%	90%	90%	A	/

施策の予算額・執行額等【参考】	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求額
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	20,332 <234>	20,022 <282>	19,816 <266>	19,358 <0>
補正予算(b)		1,052 <0>	0 <0>	2,778 <0>	—	/
前年度繰越等(c)		2,406 <0>	1,198 <0>	0 <0>	—	/
合計(a+b+c)		23,790 <234>	21,220 <282>	22,594 <266>	19,358 <0>	/
執行額(百万円)		22,291 <234>	21,039 <282>	/	/	/
翌年度繰越額(百万円)		1,198	0	/	/	/
不用額(百万円)		301	180	/	/	/

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(平成29年6月23日)
-----------------	------------------------

担当部局名	大臣官房 総合政策局	作成責任者名	技術調査課長 石原 康弘 技術政策課長 吉元 博文	政策評価実施時期	平成29年8月
-------	---------------	--------	------------------------------	----------	---------

業績指標 137

目標を達成した技術研究開発課題の割合*

評価

A

目標値：90%（毎年度）
 実績値：93.8%（平成28年度）
 初期値：—

（指標の定義）

当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、外部評価により「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」と評価された技術研究開発課題の割合

（目標設定の考え方・根拠）

技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくためには、目標を適切に設定し、効果的・効率的に実施することが重要である。この観点から、当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、目標を達成した技術研究開発課題の割合を業績指標として設定し、これまでの実績を勘案し、達成目標を90%としている。

実績値の算定にあたっては、外部評価にて個別研究開発課題ごとに「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」、「あまり目標を達成できなかった」、「目標を達成できなかった」の4段階で評価し、そのうち「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」ものを「目標を達成した」ものとする。

（外部要因）

設備故障等の不可抗力
 資機材の入手困難

（他の関係主体）

なし

（重要政策）

【施政方針】

なし

【閣議決定】

なし

【閣決（重点）】

なし

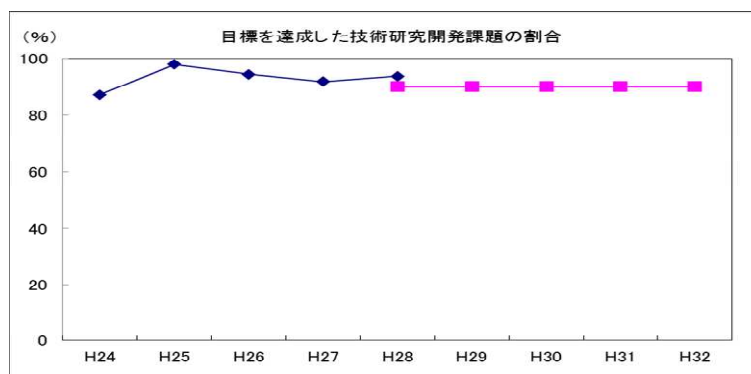
【その他】

なし

過去の実績値

（年度）

H24	H25	H26	H27	H28
87.2	97.9	94.4	91.8	93.8



主な事務事業等の概要

技術研究開発の推進に必要な経費

予算額：

2,835百万円（27年度）

2,344百万円（28年度）

測定・評価結果

目標の達成状況に関する分析

(指標の動向)

順調である(30件/32件)

H25年度から継続して、現在の目標値である90%を継続して超えている

(事務事業等の実施状況)

目指すべき社会の実現のため、様々な要素技術をすり合わせ・統合し、高度化することにより、社会的な重要課題を解決し、国民の暮らしへ還元する科学技術を推進している。

平成28年度は、32件の研究開発課題の事後評価が実施され、そのうち30件が「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」と評価された。

なお、個別の研究開発課題では、評価の実施にあたっては別途外部の専門家の知見を活用した評価(外部評価)が行われており、研究開発課題の結果については、

<http://www.mlit.go.jp/common/001143200.pdf>

<http://www.mlit.go.jp/common/001181143.pdf>

に掲載している。

課題の特定と今後の取組みの方向性

業績指標については、平成26年度の目標値を達成していることから、引き続き技術研究開発を推進していくこととし、Aと評価した。

担当課等(担当課長名等)

担当課：大臣官房技術調査課(課長 石原 康弘)

総合政策局技術政策課(課長 吉元 博文)